

## 17 番の歌 「そう望みます」

## イエスは思いやり深い大祭司

「**私たちの大祭司は、私たちの弱さに同情できないような方ではありません**」。 [ヘブライ 4:15](#)

ポイント：イエスが**思いやり深い大祭司になれた**のはどうしてでしょうか。 **大祭司イエス**は今、**私たちをどんなふう**に支えてくれているのでしょうか。

1-2. (ア) エホバが**イエスを地球に遣わした**のはどうしてですか。 (イ) **この記事では**どんなことを考えますか。 ([ヘブライ 5:7-9](#))

約 2000 年前、エホバは**大切な息子イエスを地球に遣わしました**。どうしてでしょうか。 **人間を罪と死から解放し、サタンが持ち込んだ悪いことを全部終わらせる**ためです。 ([ヨハ 3:16](#) 神は、自分の独り子を与えるほどに人類を愛したのです。そのようにして、独り子に信仰を抱く人が皆、滅ぼされないで永遠の命を受けられるようにしました。[ヨハ 3:8](#) 罪を犯し続ける人は悪魔から出ています。悪魔は初めから罪を犯してきたからです。神の子が現れたのは、悪魔の行いを終わらせる(\*滅ぼす)ためです。) でも、**それだけではありません**。エホバは**イエスが人間として生きる**ことには**大きな意味**があると思っていました。 **イエスはその経験を通して、人の気持ちがよく分かる思いやり深い大祭司**になることができるからです。イエスが**大祭司になった**のは**西暦 29 年にバプテスマ**を受けた時です。 \***イエスの大祭司としての役割がユダヤ人の大祭司の役割にどのように取って代わったかは**、「ものみの塔」2023 年 10 月号 26 ページ、「エホバの神殿で崇拝できるのは素晴らしいこと」という記事の 7-9 節を参照。

2 **この記事**では、①**イエスが地球で経験**したことが、**愛情深い大祭司となるため**にどのように**役立ったか**を考えます。②**イエスがどういう意味で**大祭司として「**完全にされた**」**か**にも注目します。 (? ) **こうした点が分かる**と、**自分の弱さにがっかりすること**があっても、**そんな時こそエホバに祈りたい**という気持ちになります。 ([ヘブライ 5:7-9](#) **キリストは、地上で生きていた(d\* 肉体でいた)間、自分を死から救える方に祈願を捧げ、願い(\*請願)を伝えました。大きな声で叫び、涙を流しながらそのようにし、神への恐れゆえに聞き入れられました。8 キリストは神の子であったにもかかわらず、苦しんだ事柄から従順を学びました。9 そして、完全にされた後、自分に従う人全てに永遠の救いをもたらす方になりました。** を読む。)

## 神の最愛の息子が地球に来る

3-4. イエスは地球に来て**どんな大きな変化**を経験しましたか。

3 誰もが環境の変化を経験します。引っ越しで愛着のある場所を後にし、友達や家族と離れ離れになることもあるでしょう。そういう変化に順応するのは大変です。でも、イエスほど大きな変化を経験した人はいません。天にいた時、エホバの次に高い地位に就いていました。エホバの愛を一身に受け、エホバの右腕として働いていて、いつも幸せでした。(詩 16:11 あなたは命の道を私に知らせてください。あなたの前にはあふれる喜びがある。あなたの右には永遠の幸せがある。格 8:30 その時、私は優れた働き手として神のそばにいた。私は毎日、神が深い愛情を抱く存在で、いつも神の前で喜んだ。) でもフィリピ 2 章 7 節かえって、全てを捨てて奴隷のようになり、人間(d\*人間と同様)になりました。にある通り、イエスは進んで「全てを捨て」ました。天で持っていたものを手放して、地球で罪深い人間たちと暮らしました。

4 幼い頃のイエスの暮らしについて考えてみてください。イエスは貧しい家庭に生まれました。それはイエスの誕生後に両親が捧げた犠牲からも分かります。(レビ 12:8 もし羊を差し出す余裕がなければ、ヤマバト 2 羽か若いイエバト 2 羽を持っていかなければならない。1 羽は全焼の捧げ物のため、1 羽は罪の捧げ物のためである。祭司は女性のために贖罪を行い、女性は清くなる』)。ルカ 2:24 また、エホバの律法に、「ヤマバト 2 羽か若いイエバト 2 羽」と述べられているところから従って犠牲を捧げた。) また、残酷な王ヘロデが生まれたばかりのイエスを殺そうとしたため、しばらくの間エジプトでの難民生活を余儀なくされました。(マタ 2:13 占星術師たちが去った後、エホバの天使が夢の中でヨセフに現れて、言った。「起きて、この子とその母親を連れてエジプトに逃げ、私が知らせるまでとどまりなさい。ヘロデがこの子を捜して殺そうとしています」、15 ヘロデの死までとどまった。こうして、エホバが預言者を通して「私はわが子をエジプトから呼び出した」と語ったことが実現した。) 天にいた頃の生活とは大違いです。

5. イエスは地球に来てどんなことを目の当たりにしましたか。その経験はイエスにどんな影響を与えましたか。(挿絵も参照。)

5 イエスは地球にいた時、周りに苦しみがあふれているのを目にしました。愛する人を亡くすという経験をしました。育ての親ヨセフとの死別もあったことでしょう。伝道を始めから、いろんな苦しい思いをしている人たちと接しました。重い皮膚病を患っている人、目が見えない人、体がまひしている人、子供を亡くした親などを見て、胸が締め付けられるような思いがしたはずでした。(マタ 9:2 すると、人々が、体がまひした男性を担架で運んできた。イエスは彼らの信仰を見て、まひした男性に言った。「安心してください。あなたの罪は許されています」、6 しかし、人の子が罪を許す権威を地上で持っていることをあなた方が知るために—)。それから、まひした男性に言った。「起き上がって担架を持ち、家に帰りなさい」。: 15:30 すると、大勢の人が、手足が不自由な人、目が見えない人、口が利けない人など、多くの人を連れてきて、イエスの足元に置いた。イエスはその人たちを治した。: 20:34 イエスはかわいそうに思い、2人の目に触れた。すると、2人はすぐに目が見えるようになり、イエスの後に従った。マル 1:40, 41 また、重い皮膚病の男性がイエスの所に来て、ひざまずいて嘆願し、「あなたは、お望みになるだけで、私を癒やす(\*清くする)ことができます」と言った。41 イエスはかわいそうに思い、手を伸ばして男性に触り、「そう望みます。良くなりなさい」と言った。ルカ 7:13 主イエスはその母親を見ると、かわいそうに思い、「泣くことはありません」と言った。) もちろん、天にいた時も人間が苦しんでいる様子を見ていました。でも地球に来て人間として生き、みんなが抱えて

いる痛みを目の当たりにしました。(イザ 53:4 彼はまさしく私たちの病気を担い、私たちの痛みを負った。しかし私たちは、彼が災厄に遭い、神に打たれて苦しんでいると考えた。) そういう経験を通して、人間が抱える感情や味わう挫折をもっと深く理解できるようになりました。イエス自身も生身の人間として、苦悩や落胆や悲しみを味わいました。



イエスは人の痛みを感じ取り、  
気持ちを深く思いやった。  
(5節を参照。)

## イエスは人を心から思いやった

6. イザヤが使った表現から、イエスの思いやりについてどんなことが分かりますか。 (イザヤ 42:3)

6 イエスは伝道していた時、恵まれない境遇の人たちを深く思いやりました。そのことは聖書の中で預言されていました。ヘブライ語聖書では、強い信仰を持つ人たちが、よく潤っている庭園や堂々とした大木に例えられることがあります。(詩 92:12 正しい人はヤシの木のように茂り、レバノンの杉のように大きく育つ。イザ 61:3 シオンのことで嘆き悲しんでいる人たちに、灰の代わりに頭飾りを、悲しみの代わりに歓喜の油を、落胆の代わりに賛美の衣服を与える。彼らは正義の大木と呼ばれる。エホバがご自分の栄光の(\*ご自分を美しくする)ために植えた木々である。エレ 31:12 人々は来て、シオンの山で歓声を上げ、エホバからの良いもの(\*エホバの善い行い)のゆえに顔を輝かせる。穀物、新しいぶどう酒、油、若い羊や牛について喜ぶ。彼らはよく潤っている庭園のようになり、二度と弱り果てることはない。) 一方、貧しくて虐げられている人たちは、傷ついたアシやくすぶるランプなど、弱々しくあまり価値がないようなものに例えられています。(イザヤ 42:3 傷ついたアシを折らず、くすぶるランプの火を消さない。忠実に公正をもたらす。を読む。マタ 12:20 彼は、傷ついたアシを折らず、くすぶるランプの火を消さず、やがて確実に公正をもたらす。) イザヤは聖なる力に導かれて、そういう弱い人たちをイエスがどれほど愛し、大切にするかを予告しました。

7-8. イエスはイザヤの預言をどのように実現させましたか。

7 マタイは、「傷ついたアシを折らず、くすぶるランプの火を消さない」というイザヤの言葉をイエスが実現させたと言っています。イエスは奇跡を起こして、折れかけたアシのように弱っている人や、今にも消えそうなランプの火のように希望を失いかけていた人たちを助けました。その中には全身重い皮膚病の男性がいました。この人にとって、病気が治って家族や友達と一緒に過ごせる時が来る、というのはあり得ない話でした。(ルカ 5:12, 13 イエスがある町にいた別の時のこと、全身重い皮膚病の男性がいた。その男性はイエスを見掛けると、ひれ伏してこう願っ

た。「主よ、あなたは、お望みになるだけで、私を癒やすことができます」。13 イエスは手を伸ばして男性に触り、「そう望みます。良くなりなさい」と言った。すぐに病気は消えた。) また、耳が聞こえず言語障害のある男性もいました。この人は、周りのみんなが楽しそうに話している様子を見て、とてもさみしく感じていたはずでした。(マル 7:32, 33 ここで人々は、耳が聞こえず言語障害のある男性をイエスのもとに連れてきて、その男性に手を置いてくれるようにと嘆願した。33 イエスは群衆の中からその男性だけを連れていった。指を男性の両耳に入れ、それから唾を掛けて、舌に触れた。) でも、そういう人たちは別の理由でも苦しんでいました。

8 当時、多くのユダヤ人は、病気や障害で苦しむのは本人か親が悪いことをしたせいだと考えていました。(ヨハ 9:2 弟子たちがイエスに尋ねた。「ラビ、この人が生まれつき目が見えないのは、誰が罪を犯したからですか。本人ですか、それとも親ですか」。) そういう冷たい目にさらされていた人たちはさらに惨めな気持ちになったはずでした。イザヤが預言していた通り、イエスはそういう人たちの病気や障害を癒やしただけでなく、消えかけていた希望の光を再びともしてあげました。では、イエスは私たちのことをどんな気持ちで見ているのでしょうか。

9. [ヘブライ 4 章 15, 16 節](#)から、大祭司イエスが弱い人間をどのように思いやってくれることが分かりますか。

9 [ヘブライ 4 章 15, 16 節](#) 私たちの大祭司は、私たちの弱さに同情できないような方ではありません。あらゆる点で私たちと同じように試され、しかも罪がない方です。16 それで、助けが必要な時に憐れみと惜しめない親切を受けられるよう、気後れすることなく祈り、惜しめない親切を示してくださる神(\*惜しめない親切の座)に近づきましょう。を読む。イエスは同情心にあふれていて、いつも私たちのことを深く思いやってくれます。同情心がある人は、人の苦しみや感情をまるで自分のことのように感じます。「同情する」と訳されているギリシャ語には、ほかの人が経験していることや感じていることを一緒に味わう、という意味があります。(パウロがそのギリシャ語を使っている [ヘブライ 10:34](#) 捕らわれている人たちに同情し、持ち物が奪われても喜んで耐え忍びました。もっと良い、永続するものを持っていることを知っているからです。も参照。) イエスの奇跡についての記録を読むと、イエスが人の痛みをどれほど感じ取っていたかが伝わってきます。単に義務感に動かされて病気を癒やしたのではありません。何とかしてあげたいと心から思っていたからです。例えば、イエスは皮膚病の男性を離れた所から癒やすこともできましたが、あえてその人に触って治しました。きっと何年もの間、誰からも触れてもらえていなかったこの男性は、どんなにかうれしかったことでしょう。耳の聞こえない男性を癒やした時は、人が多いにぎやかな所から連れ出して、2人きりになって治してあげました。また、生き方を改めた女性に、イエスがどんなふうにあつたかも考えてみてください。その女性は、パリサイ派の人たちからは見下されていました。でもイエスは、自分の足を涙でぬらし髪の毛で拭いてくれたその女性のことをみんなの前でかばいました。(マタ 8:3 イエスは手を伸ばして男性に触り、「そう望みます。良くなりなさい」と言った。すぐに病気は治った。マル 7:33 イエスは群衆の中からその男性だけを連れていった。指を男性の両耳に入れ、それから唾を掛けて、舌に触れた。ルカ 7:44 そして女性の方を向きながらシモンに言った。「この女性が見えますか。私が家に入っても、あなたは足を洗う水をくれませんでした。しかし、この女性は涙で私の足をぬらし、髪の毛で拭いてくれました。) 病気や障害を抱えている人や、大きな過ちを犯した人を避けるよ

うなことは絶対にしませんでした。むしろ優しく愛のこもった接し方をし、自分は大切にされていると感じられるようにしました。イエスは私たちのことも同じように思いやってくれます。

## 思いやり深い大祭司に倣う

10. 目や耳が不自由な人が聖書を学べるよう、どんなものが用意されていますか。（写真も参照。）

10 私たちもイエスの愛や思いやりに倣いたいと思っています。（ペテロ 2:21 皆さんはこうした道に招かれました。キリストでさえ皆さんのために苦しみ、その歩みに皆さんがしっかり付いてくるよう手本を示しました。;3:8 最後に、皆が、一致した考え(\*同じ考え方)、仲間をいたわる気持ち、兄弟愛、温かい思いやりを持ち、謙遜であってください。）目や耳が不自由な人を癒やしてあげることができませんが、エホバについて教え、信仰を強められるように助けることはできます。例えば、エホバの証人は聖書を学ぶための動画を100以上の手話言語で提供しています。目が不自由な人のために、点字版を60以上の言語で、動画の音声解説を100以上の言語で用意しています。それで、目や耳の不自由な人もエホバやイエスとの友情を育てることができています。



聖書に基づく資料が1000以上の言語で提供されている。

左: 100以上の手話言語

右: 60以上の言語の点字版

(10節を参照。)

11. エホバの証人は、いろんな背景の人に良い知らせを伝えたいと思っているイエスにどのように倣っていますか。（使徒 2:5-7, 33）（写真も参照。）

11 エホバの証人は、いろんな背景の人がエホバと親しくなれるようにベストを尽くしています。イエスは生き返った後弟子たちに聖なる力を注ぎ、ペンテコステの祭りに来ていた人たちが良い知らせを「自分の言語」で聞けるようにしました。（使徒 2:5-7 この時、エルサレムには、神を畏れるユダヤ人が世界のあらゆる国から来ていた。6 この音がした時、大勢の人が集まってきて、あっけにとられた。誰もが自分の言語で弟子たちが話すのを聞いたからである。7 人々はすっかり驚いて、こう言った。「見なさい、話しているこの人たちは皆ガリラヤ人ではないか、33 それで、この方は天に昇って神の右に座り(iP\*神の右手によって天に昇り)、約束の聖なる力を天の父から受けたので、それを注ぎました。その聖なる力の働きをあなた方は見聞きしているのです。を読む。) イエスのリーダーシップの下、現代でもエホバの証人は聖書に基づく資料を1000以上の言語に翻訳しています。その中には話す人が少ない言語もあります。例えば、アメリカ大陸の先住民言語の中には、北米や南米に住む比較的少数の人たちだけが話すものもあります。それでも160以上の先住民言語で出版物が準備されています。できるだけ多くの人が良い知らせについ

て学べるようにするためです。また、**ロマ**の人たちが話す**20種類以上のロマニー語**でも入手できます。こういう言語を話す多くの人たちがエホバに仕えるようになっていきます。



左: **160以上**の**アメリカ大陸の先住民言語**

右: **20種類以上**の**ロマニー語**

(11節を参照。)

12. エホバの証人はほかにもどんなことに力を入れていますか。

12 エホバの証人は、**◎良い知らせを広める活動だけでなく**、**①自然災害に遭った仲間の救援にも力を入れています。****すぐに助けに駆け付けられるよう**、**たくさんの兄弟姉妹がボランティアとして働く準備を整えています。**また、**②エホバを崇拝するための場所の建設にも取り組んでいます。****エホバの愛について学びやすい環境を整える**ためです。

## 大祭司イエスが支えてくれる

13. イエスはどんなふうに私たちを支えてくれますか。

13 **立派な羊飼**いイエスは、私たちが**エホバとの強い絆を守れるようにいつも気を配っています。**(**ヨハ 10:14** 私は立派な羊飼いで、自分の羊を知っており、私の羊も私を知っています。**エフェ 4:7** 私たちは一人一人が惜しめない親切を受け、キリストから**無償の贈り物(\*能力)**を与えられました。) **時々**私たちは、**自分は傷ついたアシ**、**くすぶるランプの火**のようだと感じることがあります。**重い病**気になったり、**失敗**してしまったり、**仲間との関係がぎくしゃく**したりすると**落ち込んで**しまいます。**今のつらい状況にばかり目が向**いて、**将来の希望がぼやけて**しまうかもしれません。そんな時、思い出してください。**イエスはいつもあなたのことを見**ていて、**どんな大変な経験**をしているか、そのせいで**どんな気持ち**になっているかを**全部分か**ってくれます。ただ見ているだけではなく、**思いやり深く助けの手を差し伸**べてくれます。あなたが**弱っている時**、**聖なる力**を与えて**強くして**くれます。(**ヨハ 16:7** しかし実を言うと、私が去っていくことはあなたたちのためになります。私が去らなければ、援助者はあなたたちのもとに来ませんが、去ったら、私はその者を遣わすからです。**テト 3:6** 神は、私たちの救い主である**イエス・キリスト**を通して、**聖なる力を豊かに(\*惜しみなく)注**いでくださいました。) また、「**人々という贈り物**」つまり**長老たちと仲間**を通して、あなたを**励まし**、**支え**、**元気づけ**てくれます。(**エフェ 4:8** こう述べられ(if\*彼はこう述べ)ています。「その方は**高い所に昇った時**、**捕虜を連れ去り**、**人々という贈り物**を与えました」。)

14. 落ち込んだ時、どんなことをじっくり考えるといいですか。

14 力を失ってランプの火が消えそうな時は、イエスがどんな大祭司かということをしつくり考えるようにしましょう。エホバがイエスを地球に遣わしたのは、私たちが罪と死から救い出すためだけではありません。人間が抱える問題や悩みを、イエスがもっとよく理解して思いやれるようにするためです。私たちが自分の弱さや罪深さに嫌気が差して「助けが必要な時」、イエスはいつでも支えてくれます。(ヘブ 4:15, 16 私たちの大祭司は、私たちの弱さに同情できないような方ではありません。あらゆる点で私たちと同じように試され、しかも罪がない方です。16 それで、助けが必要な時に憐れみと惜しめない親切を受けられるよう、気後れすることなく祈り、惜しめない親切を示してくださる神(\*惜しめない親切の座)に近づきましょう。)

15. ある兄弟はどんな助けを受けてエホバのもとに戻ることができましたか。

15 イエスはエホバから離れてしまっている人たちのことも深く気に掛けています。私たちに、そういう人たちを捜し出して助けてほしいと思っています。(マタ 18:12, 13 どう考えますか。ある男性に 100 匹の羊がいて、その 1 匹が迷い出るなら、男性は 99 匹を山に残し、迷い出ている羊を捜しに出掛けないでしょうか。13 そして見つけたら、間違いなく、迷い出なかった 99 匹のこと以上にその羊のことを喜びます。) ステファノという男性の例を考えてみましょう。\*名前は変えてあります。会衆から除かれて 12 年がたったある時、ステファノは集会に行くことにしました。こう言っています。「とても気が引けましたが、愛にあふれたエホバの家族に戻りたい、という気持ちもありました。長老たちは本当に優しく接してくれました。罪悪感にさいなまれてもう頑張れない、と思うこともありましたが、兄弟たちは、諦めないでほしいとエホバとイエスが願っていることに気付かせてくれました。復帰した時、会衆のみんなが温かく迎えてくれました。その後妻も聖書レッスンを始め、今では家族でエホバに仕えています」。優しい大祭司イエスは、生き方を改めた人が会衆に戻ってくるのを見て、どれほどうれしく思っていることでしょう。

16. イエスという思いやり深い大祭司がいることに心から感謝できるのはどうしてですか。

16 イエスは人間として生きていた時、苦しんでいる人たちを思いやり、助けの手を差し伸べました。私たちがつらい思いをする時も、イエスが必ず助けてくれると心から信じられます。もうすぐ来る新しい世界では、エホバに従う人たちがイエスに助けられながら、罪深い状態から完全に自由になっていきます。愛と憐れみにあふれたエホバが、思いやり深い大祭司イエスを与えてくれたことに心から感謝できます。

## 何を学びましたか

1. イエスが人間として経験したことは、大祭司として奉仕する上でどう役立ちましたか。

・S05 天にいた時も人間が苦しんでいる様子を見ていたが、地球に来て人間として生き、みんなが抱えている痛みを目の当たりにした。イエス自身も生身の人間として、苦悩や落胆や悲しみを味わったが、そういう経験を通して、人間が抱える感情や味わう挫折をもっと深く理解できるようになった。

2. イエスはイザヤ 42 章 3 節（傷ついたアシを折らず、くすぶるランプの火を消さない。忠実に公正をもたらす）の預言をどのように実現させましたか。

・S07 イエスは奇跡を起こして、折れかけたアシのように弱っている人や、今にも消えそうなランプの火のように希望を失いかけていた人たちを助けた。

・S09 病気や障害を抱えている人や、大きな過ちを犯した人を避けるようなことは絶対にせず、むしろ優しく愛のこもった接し方をし、自分は大切にされていると感じられるようにした。イエスは私たちのことも思いやってくれる。

3. 大祭司イエスは今、私たちをどんなふうに助けてくれますか。

・S13 立派な羊飼イエスは、私たちがエホバとの強い絆を守れるようにいつも気を配っている。イエスはいつもあなたのことを見ている、どんな大変な経験をしているか、そのせいでどんな気持ちになっているかを全部分かってくれている。ただ見ているだけではなく、思いやり深く助けの手を差し伸べてくれて、あなたが弱っている時、聖なる力を与えて強くしてくれる。また、「人々という贈り物」つまり長老たちと仲間を通して、あなたを励まし、支え、元気づけてくれる。

・S14 エホバがイエスを地球に遣わしたのは、私たちが罪と死から救い出すためだけではなく、人間が抱える問題や悩みを、イエスがもっとよく理解して思いやれるようにするため。それで私たちが自分の弱さや罪深さに嫌気が差して「助けが必要な時」、イエスはいつでも支えてくれる。

・S15 イエスはエホバから離れてしまっている人たちのことも深く気に掛けて、私たちに、そういう人たちを捜し出して助けるよう励まし支えてくださる。

## 13 番の歌 キリストは私たちの手本

△ イエスの大祭司としての役割がユダヤ人の大祭司の役割にどのように取って代わったかは、[「ものみの塔」2023 年 10 月号 26 ページ](#)、「エホバの神殿で崇拝できるのは素晴らしいこと」という記事の 7-9 節を参照。

△ 名前は変えてあります。

△ [\(ヘブ 4:15\)](#) 私たちの大祭司は、私たちの弱さに同情できないような方ではありません。あらゆる点で私たちと同じように試され、しかも罪がない方です。

△ [\(ヘブ 5:7-9\)](#) キリストは、地上で生きていた\*間、自分を死から救える方に祈願を捧げ、願い\*を伝えました。大きな声で叫び、涙を流しながらそのようにし、神への恐れゆえに聞き入れられました。8 キリストは神の子であったにもかかわらず、苦しんだ事柄から従順を学びました。9 そして、完全にされた後、自分に従う人全てに永遠の救いをもたらす方になりました。

直訳、「肉体でいた」。

または、「請願」。